

(別紙1)

令和〇年〇月〇日

財務(支)局(事務所・出張所)長 殿

住所(又は所在地)

氏名(又は名称)



国有財産貸付料の減免措置申請書

下記 1 の国有財産について、下記 2 により使用が不可能となったことから、貸付料の減免措置の承認を得たく申請します。

記

1. 国有地(国有建物)の表示  
所在地  
種目(構造)  
数 量
2. 使用不可能の原因となった天災等
3. 被災の状況  
別添「被害状況及び意向確認調査票」のとおり

(作成上の留意事項)

必要に応じて適宜、加除修正すること。

(別紙 2)

【被害状況及び意向確認調査票送付文書】

文 書 番 号

令和〇年〇月〇日

(貸付相手方) 殿

財務(支)局(事務所・出張所)長

国有財産の貸付契約について

この度の災害による被災に対しまして心よりお見舞い申し上げます。

さて、あなたと国有財産貸付契約を締結しています下記の財産につきましては、災害による被災状況並びに災害以降の使用状況を確認いたしたく、次の調査にご協力下さるようお願い申し上げます。

同封しております別添の調査票にご記入のうえ、返信用封筒により、令和 年 月 日までに〇〇財務事務所までお送り願います。

なお、国有地上の建物の損壊等により、貸付財産が使用不可能と認められる期間につきましては、貸付料を減免しますので、復旧作業などでお忙しいところ恐縮ですが、期限までにご返送下さい。

記

貸付財産

所在地	〇〇市△△町
区分	土地
数量	×××m <sup>2</sup>

連絡先	〒 〇〇市△△町
	〇〇財務局管財部統括国有財産管理官
	上席国有財産管理官 □□□□
	電話

(作成上の留意事項)

必要に応じて適宜、加除修正すること。

## 被害状況及び意向確認調査票

このたびの地震で被災した方に対し、お貸ししております国有地や建物の被害状況について、詳細に確認する必要がありますので、把握している限りで、下記の質問にご回答ください。（該当記号に「○」をつけてください。）

### 1. 現在の状況

#### (1) 連絡先

氏 名 \_\_\_\_\_

連絡先（転居・避難先など） \_\_\_\_\_

（ \_\_\_\_\_ 様方）

電話（ \_\_\_\_\_ ） 携帯（ \_\_\_\_\_ ）

その他連絡事項

（ \_\_\_\_\_ ）

（注）転居先の電話が親戚の家などである場合には、家主のお名前を

「（ \_\_\_\_\_ 様方）」と、ご記入ください。

#### (2) 震災以降の居住状況について

イ 国有地に引き続き居住している

ロ 一時、避難をしていたが、今は居住している

（ 避難期間  
令和 年 月 日～令和 年 月 日 ）

ハ 震災以降、現在も避難を続けている

## 2. 国有地上のあなた（又は国）の建物について

### （1）罹災証明の有無

今回の震災による建物の被害に関し、市区町村長から罹災証明を受けておりますか。

イ 受けている    ハ 受けていない

（注）罹災証明を受けている方におかれましては、本調査票を返送する際に、罹災証明書の写しを同封してください。

罹災証明書の交付を受けることが困難な場合には、損壊部分の写真を同封してください。

### （2）被災の程度

建物の被災状況をご回答ください。

罹災証明を受けている方は、証明書に記載された内容で  
ご回答ください。

イ 損害なし    ロ 全壊    ハ 大規模半壊    ニ 半壊  
ホ 半壊ではない（一部損壊）

その他（上記以外の状況があればご記入ください）

( )

（注）被災程度の考え方

全        壊：建物の延床面積の損壊が7割以上

大規模半壊：建物の延床面積の損壊が5割から7割未満

半        壊：建物の延床面積の損壊が2割から5割未満

一 部 損 壊：建物の延床面積の損壊が2割未満

### 3. ライフライン（電気・ガス・水道）の状況について

#### (1) 電気の状況（計画停電を除く）

イ まだ復旧していない

（復旧見込時期 令和 年 月頃）

ロ 回復している

（使用不可期間  
令和 年 月 日から令和 年 月 日まで

ハ 震災後も通常通り使用可能である。

#### (2) ガスの状況

イ まだ復旧していない

（復旧見込時期 令和 年 月頃）

ロ 回復している

（使用不可期間  
令和 年 月 日から令和 年 月 日まで

ハ 震災後も通常通り使用可能である。

#### (3) 水道の状況

イ まだ復旧していない

（復旧見込時期 令和 年 月頃）

ロ 回復している

（使用不可期間  
令和 年 月 日から令和 年 月 日まで

ハ 震災後も通常通り使用可能である。

#### 4. 財産の返還について

イ 引き続き借受を希望     財産返還を希望

#### 5. 今後について（借地契約の方のみ）

建替（又は大規模修繕）の予定はありますか。

イ 当分の間、予定はない

ロ 1年以内に再築（又は大規模修繕）の予定

（開始時期 令和 年 月 日頃）

ハ 現在、建替（又は大規模修繕）中である

（竣工予定 令和 年 月 日頃）

ニ 既に、建替（又は大規模修繕）済である

（竣工日 令和 年 月 日）

ホ その他



（注）現時点で予定がない場合でも、建替（又は大規模修繕）には  
当財務事務所において手続きが必要となりますので、予定が決  
まった段階で、ご連絡ください。

（作成上の留意事項）

必要に応じて適宜、加除修正すること。

回 答 日	令和 年 月 日
-------	----------

## 被害状況及び意向確認調査票（農地）

このたびの地震で被災した方に対し、お貸ししております国有地の被害状況について、詳細に確認する必要がありますので、把握している限りで、下記の質問にご回答ください。（該当記号に「○」をつけてください。）

### 1. 現在の状況

連絡先

氏 名 \_\_\_\_\_

連絡先（転居・避難先など） \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_（ \_\_\_\_\_ 様方）

電話（ \_\_\_\_\_ ） 携帯（ \_\_\_\_\_ ）

その他連絡事項 {

（注）転居先の電話が親戚の家などである場合には、家主のお名前を「（ \_\_\_\_\_ 様方）」と、ご記入ください。

## 2. 国有農地について

国有農地の被災状況をご回答ください。(複数回答可)

イ 損害なし    口 水没等使用不可

ホ 作付け作物等が出荷制限・摂取制限の対象となっている

(「ホ」と回答した場合には下記の質問にご回答ください)

① 出荷制限・摂取制限の品目を教えてください。

A 非結球性葉菜類    B 結球性葉菜類

C アブラナ科花蕾類    D カブ    F 原乳    G その他

具体的な作物名を教えてください。

[ ]

② 「①」で回答した品目について、国有地上で作付けしている面積を、教えてください。

A 全面積で作付け

B 一部の面積で作付け

( \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup>を作付けしている。)

その他 (上記以外の状況があればご記入ください)

[ ]

## 3. 財産の返還について

イ 引き続き借受を希望    口 財産返還を希望

(作成上の留意事項)

必要に応じて適宜、加除修正すること。

(別紙3の1)

【貸付期間不算入措置に係る通知文書】

文 書 番 号  
令和〇年〇月〇日

(貸付相手方) 殿

財務(支)局(事務所・出張所)長

国有財産の貸付契約について

この度の災害による被災に対しまして心よりお見舞い申し上げます。

さて、あなたと国有財産貸付契約を締結しています下記1の財産につきましては、災害等により令和〇年〇月〇日以降財産が使用不可能となったことから、下記2の期間につきましては貸付料の計算上貸付期間に算入しません。そのため、この期間に係る貸付料を支払う必要がありませんので、その旨通知致します。

なお、使用再開の日より貸付料をいただくこととなりますので、今後、国有地上で建替工事を行う際には(貸付財産を再び使用される際には)、事前に当局管財部統括国有財産管理官までご連絡下さい。

【徴収担当と相談の上、未納付者に記載】

なお、令和〇年〇月〇日から△△日までの期間の貸付料〇〇〇円については、次回納付期日(〇月〇日)に併せて徴収させていただきますのでご了承下さい。

【徴収担当と相談のうえ、納付者に記載】

なお、あなたは、令和〇年〇月〇日から△月△日までの貸付料を既に納付していただいています。過納額につきましては、不算入期間経過後の貸付料に充当させていただきますのでご了承下さい。

記

1. 貸付財産

所在地	〇〇市△△町
区分	土地
数量	×××㎡

2. 期間 令和〇年〇月〇日より2年間

(ただし、上記期間中に国有地上で建替工事を開始した(貸付財産の使用を再開した)場合には、その日の前日まで)

連絡先 〒 〇〇市△△町  
〇〇財務局管財部統括国有財産管理官  
上席国有財産管理官 □□□□  
電話

(作成上の留意事項)

必要に応じて適宜、加除修正すること。

(別紙3の2)

【損害率による貸付料の減額に係る通知文書】

文 書 番 号  
令和〇年〇月〇日

(貸付相手方) 殿

財務(支)局(事務所・出張所)長

国有財産の貸付契約について

この度の災害による被災に対しまして心よりお見舞い申し上げます。

さて、あなたと国有財産貸付契約を締結しています下記 1 の財産につきましては、災害等により家屋が毀損されましたので、下記 2 の期間につきましては貸付料を〇割減額しますので、その旨通知致します。なお、家屋の修繕を了した日以降は通常の貸付料をいただくこととなりますので、ご了承下さい。

【徴収担当と相談のうえ、未納付者に記載】

なお、令和〇年〇月〇日から△△日までの期間の貸付料〇〇〇円については、次回納付期日(〇月〇日)に併せて徴収させていただきますのでご了承下さい。

【徴収担当と相談のうえ、納付者に記載】

なお、あなたは、令和〇年〇月〇日から△月△日までの貸付料を既に納付していただいています。過納額につきましては、減額期間経過後の貸付料に充当させていただきますのでご了承下さい。

記

1. 貸付財産

所在地 〇〇市△△町  
区分 土地  
数量  $\times \times \times \text{m}^2$

2. 期間 令和〇年〇月〇日より 2 年間

(ただし、上記期間中に国有建物の修繕が完了した場合には、その日の前日まで)

連絡先 〒 〇〇市△△町  
〇〇財務局管財部統括国有財産管理官  
上席国有財産管理官 □□□□  
電話

(作成上の留意事項)

必要に応じて適宜、加除修正すること。

(別紙3の3)

【貸付期間不算入に引き続き損害率による貸付料の減額措置を行う場合の通知文書】

文 書 番 号

令和〇年〇月〇日

(貸付相手方) 殿

財務(支)局(事務所・出張所)長

### 国有財産の貸付契約について

この度の災害による被災に対しまして心よりお見舞い申し上げます。

さて、あなたと国有財産貸付契約を締結しています下記1の財産につきましては、災害等により財産が使用不可能となったことから、下記2の期間に係る貸付料を支払う必要がありません。また、地震等により家屋が毀損されましたので、令和〇年〇月〇日から令和〇年〇月〇日までの期間につきましては貸付料を〇割減額しますので、その旨通知致します。

なお、家屋の修繕を了した日以降は通常の貸付料をいただくこととなりますので、ご了承下さい。

【徴収担当と相談のうえ、未納付者に記載】

なお、令和〇年〇月〇日から△△日までの期間の貸付料〇〇〇円については、次回納付期日(〇月〇日)に併せて徴収させていただきますのでご了承下さい。

【徴収担当と相談のうえ、納付者に記載】

なお、あなたは、令和〇年〇月〇日から△月△日までの貸付料を既に納付していただいています。過納額につきましては、不算入期間経過後の貸付料に充当させていただきますのでご了承下さい。

### 記

#### 1. 貸付財産

所在地	〇〇市△△町
区分	土地
数量	×××㎡

#### 2. 期間 令和〇年〇月〇日より2年間

(ただし、上記期間中に国有建物の修繕が完了した場合には、その日の前日まで)

連絡先 〒 〇〇市△△町

〇〇財務局管財部統括国有財産管理官

上席国有財産管理官 □□□□

電話

(作成上の留意事項)

必要に応じて適宜、加除修正すること。

(別紙 4)

文 書 番 号  
令和〇年〇月〇日

(貸付相手方) 殿

財務(支)局(事務所・出張所)長

国有財産の使用に関するお尋ね

あなたと国有財産貸付契約を締結しています下記 1 の財産につきましては、先の「(〇〇 災害名)」により、あなたが国有地上に所有していた建物(又はあなたが賃借していた国有建物)は滅失し、貸付財産は使用不可能となっております。

一方で、令和〇年〇月〇日より貸付期間不算入(貸付料の減額)の措置をとっておりますが、当該措置は下記の 2 の日をもって終了します。

貸付期間不算入(貸付料の減額)の措置の終了後は、通常どおり貸付料の支払いをお願いすることになりますので、今後、国有地を使用しない場合には、国有地の返還をご検討ください。

返還の意向がある場合には、下記の担当者に御連絡ください。

記

1. 貸付財産

所在地	〇〇市△△町
区分	土地
数量	×××m <sup>2</sup>

2. 貸付期間不算入(貸付料の減額)の終期 令和〇年〇月〇日

連絡先 〒 〇〇市△△町  
〇〇財務局管財部統括国有財産管理官  
上席国有財産管理官 □□□□  
電話

(作成上の留意事項)

必要に応じて適宜、加除修正すること。







